

ついに29年の米づくりも終盤戦! ～積算温度ともみの黄化率で刈取り判断～

●コシヒカリ、こがねもちは出穂期からの積算温度1000℃が刈取り目安

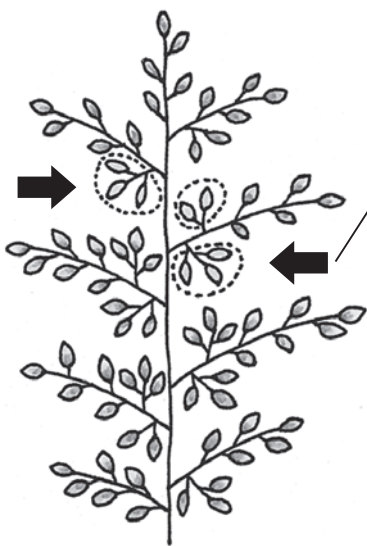
【出穂期ごとの収穫期予想（8月20日現在）】

	出穂期	収穫期の目安 1,000℃
コシヒカリ、 こがねもち	8月3日	9月13日
	8月6日	9月17日
	8月9日	9月21日
	8月13日	9月26日
	8月15日	9月29日

積算温度計の設置圃場は、米づくり情報NO.10に記載してありますので、ご確認ください。

※8月20日以降の気温データは平年値を使用

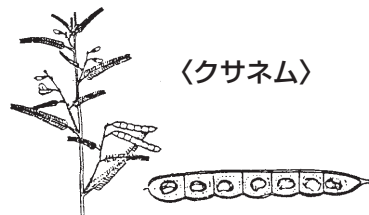
●もみの黄化率で刈取り判断



- ・点線内（上位3～4本目の1次枝梗に着生する2次枝梗もみ）が黄化した時
- ・圃場全体のもみが85～90%黄化した時

【刈取り前の雑草除去】

クサネム種子の玄米への混入はクレームや格落ちの原因になります。刈取りの前に必ず圃場外へ除去してください。



★適切な乾燥調製で、高品質・良食味米の出荷をお願いします！

個袋出荷時の重要事項

- ◎ 仕上げ水分は **14.5～15.0%** を厳守！
- ◎ 網目は **1.85mm以上** を使用し、整粒歩合 **85%以上** を目標に！
※品質によっては、**1.9mm網** を使用しましょう！
- ◎ 皆掛重量は **30.5kg** を確保！

「玄米」への「異物」混入が増加しています。

異品種、異物混入は、多大な費用損失や産地の信用失墜が懸念されます。特に収穫期から出荷の間が1番リスクが高くなりますので、産地全体で十分に注意を払いましょう。

本田管理 ・ 刈 取	<ul style="list-style-type: none">・倒伏した圃場の刈取りは、特に石が混入しないよう十分に注意してください。・雑草種子の混入を避けるため、クサネムなどの雑草は、刈取り前に必ず除去してください。・残留した粃の混入を防ぐため、コンバイン等の保守点検と整備、清掃を徹底してください。
乾 燥 ・ 調製作業	<ul style="list-style-type: none">・ホッパーの周辺は、張り込みの都度、清掃を行うとともに、作業終了後はホッパーに覆いをして異物混入を防ぎましょう。・品種切り替え時には、乾燥機や粃摺機内に残留がないよう、清掃を徹底してください。・粃摺調製初期の玄米には、調製ライン内の異物・異品種が混入している恐れがあるため、別管理し、出荷は回避するなどしてください。
出荷前	<ul style="list-style-type: none">・包装容器の取り違えがないことを確認しましょう。・運送車両の荷台及び下回りを清掃しましょう。

◎来年度のために土づくりを行いましょう!!

○土づくり肥料

毎年土づくりを行い、消耗した養分の補充をしてあげましょう。

○稲わら・もみ殻のすき込み

稲わら・もみ殻には、圃場から吸収したケイ酸分が多く蓄積されており、秋に圃場にすき込むことで土づくり効果が期待できます。

☆すき込みのポイントは5～10cmの浅うちで！

分解を行う土壌微生物への酸素供給、春先の土壌の乾燥促進などの面から5～10cm程度の浅うちにしましょう。また、十分に分解させるために刈取り後はできるだけ早めに作業を行いましょう。

◎春のすき込みは、ワキの発生を助長し、根腐れや初期生育不良の恐れがあるため、秋すき込みを心がけましょう。

注意!

・稲刈り後や秋耕作業後は、道路等に泥を落とさないようにしましょう。泥を落としてしまった場合は、速やかに片づけましょう。泥を片づけるには、除雪用のプラスチックスコップがおすすめです。

携帯メール会員募集!!

無料(通信料は除く)でタイムリーな生育状況や緊急情報をメールで配信しています。

登録の仕方がわからない方は、携帯を持って普及指導課にお越しください。こちらで登録いたします!

登録は下記メールアドレスへ空メールを送信

beikoku@haisin.jp

または、右記QRコードをご利用ください。➡



ご不明な点等がございましたら JA 普及指導課(TEL777-3786)までお問い合わせください。